


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No. 52

. . . 目 次 . . .

・報告 二度目の節目を迎えた不妊症看護認定看護師の養成	1
・日本生殖看護学会第13回生殖看護実践セミナー	2
・第17回日本生殖看護学会学術集会のご案内	3
・これから行われる学術集会・研修会情報（2019年3月～6月）	4
・勉強会開催報告	5
・2019年度研究助成のお知らせ	7
・「健やか親子21（第2次）」から	7
・理事会報告	8
・事務局からのお知らせ	8
・編集後記	8



報 告

「二度目の節目を迎えた不妊症看護認定看護師の養成」

聖路加国際大学 森明子

新しい元号を迎える年がどのような一年になるのか思いを馳せながら静かに迎えた2019年の年始でした。聖路加国際大学 認定看護師教育課程 不妊症看護コースは、その幕が閉じようとしています。本コースは2008年に開校し、11期生まで輩出し、2018年度をもって休校することになりました。これが本稿で述べる二度目の節目です。

一度目の節目は2002年に日本看護協会神戸研修センターで始まった養成が2007年度をもって閉課されたときです。講師や入試委員、教員会委員として何度も神戸まで足を運んでいた私は、これから目指したいと希望している看護師だけでなく、すでに活躍していた認定看護師諸姉のためにも何とか継続できないかと奔走しました。その結果、聖路加国際大学（当時は聖路加看護大学）でコースを設置することができ、切れ目を作らずに養成を引き継ぐことができました。しかしながら、その後も、応募者が充ちることはまれで、恒常的な定員割れに悩みました。損益分岐点を越えられない不採算コースとして、他コース

の存在に助けられ続けられた10年でした。

一昨年から日本看護協会では認定看護師制度の見直しが本格的に進められました。当初はごく少数の看護分野に絞られるという情報があり、不妊症看護は存続が懸念されました。2018年11月下旬、新たな制度設計が発表になり、認定看護分野は19に再編され、現行の分野と合わせて31となることになりました。「不妊症看護 (Infertility Nursing)」は、2026年まで教育が実施される分野とされ、その後は、新たな分野名「生殖看護 (Reproductive Health Care)」に変更されることになりました。生殖をとりまく医療や社会の情勢変化を反映しての変更だと理解しています。2017年、聖路加国際大学は2019年度の休校を決定したため、今後の養成の見通しは立っていない状況です。新しい生殖看護分野で認定看護師を養成する教育機関が現れれば、生殖看護認定看護師が誕生することになります。すでに不妊症看護分野で得た個人の資格については永続的に更新が可能であるため、一人でも多くの修了生に更新の継続を目指していただきたいと願っています。

二度目の節目にあたり、個人的な見解ですが、不妊症看護に限らず、複数の認定看護師教育課程で研修生や教員の確保が困難な状況に陥っている現状、他の多くの医療分野で専門学会等が一定の条件で看護師に専門性を認定する資格を与えている現状を踏まえると、生殖医療分野でも、質を担保しつつ、より多くの看護師が資格取得を目指すことが可能な養成のしかた・ありかたが求められているのではないかと考えます。

本学会では不妊症看護認定看護師も、新たな制度による将来の認定看護師も、どちらも今後も応援する立場をとりつづけていくことに揺るぎはないでしょう。会員の皆さん、とくに次世代を担う若い方々一人一人が生殖看護の専門性について問い、議論を深め、大切に基盤を築いていかれることを心から願っています。



日本生殖看護学会第13回生殖看護実践セミナー

テーマ：「不妊治療と心のケアにおける多職種連携」

日時：平成31年3月23日（土）14：30～17：00（受付14：10～14：30）

場所：聖路加国際大学アリス・C・セントジョンメモリアルホール（東京都中央区明石町10-1）

対象：生殖看護に関心のある看護職、学生など

不妊症看護認定看護師

参加費：会員無料 非会員1,000円

※若干、お席がありますので、関心がある方はお申込みください。

第17回日本生殖看護学会学術集会のご案内

日時：2019年9月15日（日）9:30～17:00
場所：聖路加国際大学 アリス・C・セントジョンメモリアルホール他
（〒104-0044 東京都中央区明石町10-1）

メインテーマは、「躍進する生殖看護－不妊治療からその先の妊娠・出産・育児へ」としました。不妊治療を受け妊娠するカップルが親役割を獲得し、協働して育児をしていくためには、不妊治療中だけでなく、そのあとに続く妊娠・出産・育児期への継続した支援が必要だと思えます。その支援について、多角的な視点から皆さまと考える機会にしたいと思えます。7年ぶりの関東開催です。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

（学術集会長 坂上 明子）

●学術集会プログラム（予告なく変更となる場合がございます）

9:00～	受付開始
9:30～	開会 会長講演
10:00～	一般演題（口頭発表）
11:30～	教育講演「超高齢出産・育児を多職種で支える」 森 恵美氏（千葉大学大学院看護学研究科 教授）
12:40～	ランチョンセミナー 「生殖医療の最前線：こころとからだに寄りそう不育症治療とケア」 尾崎 康彦氏（名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター 教授） 「生殖医療の最前線：子宮移植の現在と未来」 木須 伊織氏（慶應義塾大学医学部 特任助教）
13:50～	総会
14:30～	一般演題（ポスター発表）
15:10～	シンポジウム「不妊治療後の妊娠・出産・育児を支える」
17:00	閉会

●学術集会参加費

事前登録：会員5,000円／非会員6,000円／学生（大学院生・研修生は除く）1,000円

・事前登録締切日：2019年8月9日（金）

当日参加：会員6,000円／非会員7,000円／学生（大学院生・研修生は除く）2,000円

●一般演題募集

演題登録締切日：2019年4月15日（月）

抄録登録締切日：2019年5月13日（月）

●お問い合わせ先

第17回日本生殖看護学会学術集会事務局

武蔵野大学看護学部 母性看護学領域内 〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

事務局E-mailアドレス：office@jsfn17.com

*事前登録のお申し込みや参加費の納入、演題登録等の詳細につきましては、
第17回日本生殖看護学会学術集会HPをご覧ください。

学術集会HPアドレス：<https://www.jsfn17.jp/>

これから行われる学術集会・研修会情報 (2019年3月～6月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
3月	2日 (土) 3日 (日)	日本助産学会学術集会 (第33回) 世界に躍進する日本の助産 ～いのちの担い手、愛と知と技～	福岡国際会議場 (福岡県福岡市)	学会 HP : http://www.congre.co.jp/jam33/ 【運営事務局】 株式会社コングレ九州支社 TEL : 092-716-7116 FAX : 092-716-7143 E-mail : jam33@congre.co.jp
	9日 (土)	新生児生命倫理研究会 (第3回)	東京大学情報学環 福武ホール ラーニングシアター (東京都文京区)	研究会 HP : http://nicu.umin.jp/association.html 【問合せ先】 東京大学小児・新生児集中治療部 新生児 生命倫理研究会事務局 高橋尚人 URL: nicu.umin.jp, TEL:03-5800-8659 E-mail:nicu-office@umin.org
	23日 (土)	第24回日本女性医学学会ワーク ショップ	御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター ソラシティホール (東京都千代田区)	学会 HP : http://www.jmwh.jp/pdf/24ws_02.pdf 【問合せ先】日本女性医学学会事務局 TEL : 03-3263-4035 FAX : 03-3263-4032
4月	11日 (木) 14日 (日)	日本産婦人科学会学術講演会 (第71回) 真理の追究	名古屋国際会議場 (名古屋市)	学会 HP : http://www.congre.co.jp/jsog2019/index.html 【運営事務局】 株式会社コングレ 中部支社内 TEL : 052-950-3369 FAX : 052-950-3370 E-mail : jsog2019[at]congre.co.jp 【大会事務局】 名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学内 TEL : 052-744-2261 FAX : 052-744-2268
6月	7日 (金)	日本不妊カウンセリング学会総会 学術集会 (第18回) 不妊チーム医療と鍼灸の役割	ニッショーホール (東京都港区)	学会 HP: : http://www.jsinfcom.com/event/entry.php?id=82
	21日 (金) 23日 (日)	日本保健医療行動科学学会 学術大会 (第34回) 事者として感じ、語らう ～悠久の都・ならにて～	奈良春日野国際 フォーラム 「菫 ～I・RA・KA～」 本館 (奈良県奈良市)	学会 HP : http://www.jahbs.info/taikai34.html#Anchor881162614 【第34回日本保健医療行動科学学会学術大会実行委員会事務局】 E-mail : 34jahbs @ gmail.com 四條畷学園大学内 事務局長 佐藤都也子
	14日 (金) 15日 (土)	日本母性看護学会学術集会 (第21回) マタニティサイクルと ライフサイクルの有機的連続性 ～多様性の尊重が未来を拓く～	JMS アステールプラザ 広島市文化交流会館 (広島県広島市)	学会 HP : http://bosei21.jp/ 【学会事務局】 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 助産・母性看護開発学 内 事務局長: 藤本 紗央里 TEL : 082-257-5362 FAX : 082-257-5362 E-mail : jsmn21@hiroshima-u.ac.jp

6月	29日(土) 30日(日)	日本健康教育学会学術大会 (第28回)	東京大学本郷キャンパス 医学部教育研究棟 鉄門記念講堂他 (東京都文京区)	学会 HP: http://www.knt.co.jp/ec/2019/28nkkg/ 【第28回日本健康教育学会学術大会運営準備室】 (株)近畿日本ツーリスト北海道 北海道 DM支店 MICE センター Tel: 011-280-8855 Fax: 011-221-5491 E-mail: s-convention-1@or.knt-h.co.jp 【第28回日本健康教育学会学術大会事務局】 日本歯科大学東京短期大学 大島克郎 Tel:03-3265-8815 Fax:03-3265-8928
	29日(土) 30日(日)	日本女性心身医学会学術集会 (第48回) 女性のライフスタイルを意識した 治療戦略	杏林大学井の頭キャンパス (東京都三鷹市)	学会 HP: http://k-con.co.jp/48jspog/program.html 【運営事務局】 株式会社ケイ・コンベンション TEL:03-5367-2382 FAX:03-5367-2187 E-mail: 48jspog@k-con.co.jp 【主催事務局】 杏林大学医学部精神神経科学教室

2017年度 関東地区勉強会報告

報告者：北里大学病院 遊佐 浩子

2017年12月2日(土) 13:30~16:00 聖路加国際病院旧館5階研修室Aにて「不妊治療における意思決定支援 - 出生前診断、着床前診断における看護師の役割とは - 」をテーマに勉強会を開催いたしました。27名の方々が、関東地区からだけでなく遠方からも参加してくださいました。

出生前検査、着床前診断は不妊治療とかわりが深く、不妊症患者さんから質問されることが多くあります。不妊症看護に従事する看護師として、正確な知識を持って看護実践を行う必要があります。この機会に正確な情報を学び、さらに自己決定の支援について考えることは不妊症看護実践にとって必須であると考えこのテーマを選択しました。

講師に、聖路加国際大学大学院遺伝看護学准教授の青木美紀子先生をお迎えし、「意思決定・意思決定支援」、「意思決定に関する看護師の役割、出生前診断や着床前診断において大切なこと」について講義をいただきました。

講義のあと、事例を用いたグループディスカッションを行いました。不妊治療の現場で頻回に話題に挙がる「羊水検査」、「新型出生前診断」、「着床前スクリーニング」についての事例に取り組みました。グループディスカッションでは、テーマを「出生前診断、着床前診断における看護師の役割について考える」とし、ゴールを「出生前診断、着床前診断における看護師の役割について、講義を踏まえて考えることができ自分(自施設)の課題が言える」として話し合いを持ちました。当事者の意思決定支援を支援するために知っておく必要のある知識を学び、意思決定支援ツールである「オタワ意思決定ガイド」を用いての支援について知識を得ることができました。

グループごとに事例を指定して行ったため、他のグループが行った事例のグループディスカッションで検討した内容を共有できるように、発表する時間を設け参加者全員で事例を共有することができました。講師の青木先生からのアドバイスをいただき学び深い時間を過ごすことができました。

生殖と遺伝はかわりの深い領域です。遺伝に関する領域を学ぶ機会を得ることは生殖医療に携わる看護職として必須であると考えます。苦手意識をもって避けるのではなく、最新の正確な知識を継続して学んでいきたいと思いました。

お忙しい中、講師をお引き受けくださいました青木美紀子先生に感謝いたします。また、参加して下さった皆様へ御礼申し上げます。

第9回日本生殖看護学会関西地区勉強会 報告

報告者：HORACグランフロント大阪クリニック 佐野郁美
IVFなんばクリニック 桑原愛・皆吉田津子・浅井麻利子・坂井朋

2018年12月2日「着床前診断について考える～異数性検査を含めたその現状と課題～」をテーマに、学会から助成を受け第9回関西地区勉強会を開催いたしました。28名の参加があり、東京、宮城など遠方からもおいいただきました。看護師だけでなく助産師、鍼灸師など幅広い職種の参加があり経験年数も一年未満から10年以上までそれぞれの環境や立場が異なる中の勉強会となりました。

講師にはIVFなんばクリニックより臨床遺伝専門医である中岡義晴先生、遺伝カウンセラーの庵前美智子先生をお招きし、それぞれ基礎から現状と課題、カウンセリング時の状況まで貴重なお話をいただくことができました。それを踏まえグループワークでは着床前診断に関する質問が増えてきていること、正しい知識を伝える重要性、意思決定ができるように導く方法、倫理上の難しさなどをアットホームな雰囲気の中、講師の先生にも参加いただき話し合いました。そして必要時はお互いに連携しそれぞれの立場で行動に移すことを参加者で共有できました。

アンケートからは日程について96%満足、講演内容について92%満足の結果となり、「とても有意義でした」「何度も聞きたいと思った」「自分一人ではまとまらない考えや意見が聞けたのでとても実りある勉強会でした」等の声をいただき、中には「学会に入会しようと思いました」とおっしゃっていただく方もいらっしゃいました。

今回の学びは、今後様々な場面で広がりを見せてくれるものと感じる事ができました。

2018年度 関東地区勉強会 開催報告

報告者：飯田知佳、河西美智代、佐々木美記
山口久美子、米田泉

【テーマ】 がんサバイバーの妊孕性における意思決定支援
—がんサバイバーが卵子提供を受けることを選択した事例から考える看護とは—

【日時】 平成30年12月8日（土） 13:00～16:00

【場所】 聖路加国際大学 2号館 3階 交流ラウンジ
(〒104-0045 東京都中央区築地3丁目8-5)

【講師】 渡邊知映 先生（上智大学 総合人間科学部看護学科 准教授）

【参加者】 15名（会員13名、非会員2名）

【セミナーの内容】

- 講演「がんサバイバーの妊孕性における意思決定支援」
AYA世代におけるがん治療が性機能に与える影響、妊孕性温存の実際、それに対する意思決定支援と看護師の役割についてわかりやすくご講演いただきました。
- 事例検討
小児期に急性骨髄性白血病（AML）を発症し卵子提供にて妊娠出産された事例の紹介を行い、「AMLと診断された時期」「成人し産婦人科へ転院した時期（結婚前）」「拳児を希望した時期（結婚後）」「卵子提供を選択した時期」の4つの時期に分け、①情報収集すべき内容②必要な看護③自分（自施設）の課題について、グループディスカッションを行った。
- アンケートによる評価
講演及びグループディスカッションを通し、約90%の参加者が「がんサバイバーへの看護支援について学ぶことができた」と回答した。勉強会の時間は「ちょうどよい」という意見がほとんどであったが、講演では「もっと話を聞きたかった」、グループディスカッションでは「もっと議論したかった」との意見もみられた。グループディスカッションは、様々な価値観に触れる貴重な時間であるため、時間設定に関して再考が必要であると思われた。

2019年度研究助成のお知らせ

会員の皆様の研究活動を支援するための研究助成制度が、さらに利用しやすくなりました。詳細および申請書類は学会HP (<https://plaza.umin.ac.jp/jsin/>) をご参照ください。

応募締め切りは **2019年6月30日(日)まで**

**今期より応募期間延長
助成金を上限20万円に up**

研究助成募集要項

【研究助成の趣旨】

生殖看護の実践に関する調査・研究を支援するために会員を対象とし、研究費を助成し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】

個人または共同の研究者を対象とする。

【応募資格】

1. 研究代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同研究者は、申請時に本学会会員である者。

【助成金】

研究助成金は研究計画一編につき20万円を上限とし、助成件数は1～2件とする。

【研究助成期間】

2019年9月1日～2020年8月31日までの1年間とする。

【応募方法】

1. 学会所定の研究助成申請書に必要事項を記載し、2部(正1部、副1部)を下記担当者宛に「研究助成申請書在中」と朱書きし、書留で送付する。申請書類は返却しない。
2. 応募受付期間：2019年1月1日(火)～6月30日(日)

【選考及び助成の決定】

研究助成審査会において選考審査の上、平成31年8月下旬に応募者に文書で通知する。選考に関する問い合わせには応じられない。

【助成金の使途】

研究活動に必要な物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【研究成果の報告】

1. 助成を受けた者は、研究終了後、その結果を理事長に報告する。
2. 研究成果は2年以内に日本生殖看護学会で発表し、さらに日本生殖看護学会誌に投稿する。
3. 研究成果を他に発表する場合には、日本生殖看護学会の研究助成を受けたことを明記する。

<お問い合わせ・申請書類送り先>

日本生殖看護学会将来検討員会委員長：野澤美江子

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科

e-mail: nozawa@stf.teu.ac.jp TEL/FAX 03-6424-2166

「健やか親子21(第2次)」から

本学会は、「健やか親子21」推進協議会に参加しています。「健やか親子21」は、平成13年から開始した母子の健康水準を向上させるための様々な取組を、みんなで推進する国民運動計画です。母子保健はすべての子どもが健やかに成長していくうえでの健康づくりの出発点であり、次世代を担う子ども達を健やかに育てるための基盤となります。平成27年度からは、現状の課題を踏まえ、新たな計画(～平成36年度)が始まりました。

新たなシンボルマーク「すこりん」をよろしく!!

本学会が所属する課題グループ4では、調査研究やカウンセリング体制の充実・ガイドラインの作成等32団体と共に活動し、現在リーフレットの作成検討中です。

今回は、「健やか親子」に関連し、厚生労働省が若者の自殺防止や思春期の問題の啓発を図るためタイアップした2本の映画を紹介します。

①『十二人の死にたい子どもたち』(現在公開中)

自殺は他人事ではなく誰にでも起こりうる問題です。追い込まれ、死にたいと思うほ



健やか親子21

ど、苦しみ悩み、周りが見えなくなります。ただ、あなたの周りには、あなたの支えになりたいと思う人や相談場所があります。そのことを、今からぜひ知ってください。

急がなくていい。慌てなくていい。いったん立ち止まって。声でも、文字でも。少しずつでも。

②『まく子』（3月15日から公開）

思春期を生きるサトシの葛藤とコズエとのせつない初恋を軸に大人と子どもの狭間で揺れ動く思春期の微妙な変化と葛藤していく姿を描く。また、家族を愛しつつも浮気をしてしまう父親、それを知りながら明るくふるまう母親、道ならぬ恋をする若い女性、訳ありの親子…小さな町のどこか不器用な人々を映し出します。

理事会報告

第1回理事会

日時：2018年11月30日（金）18:00～19:43

場所：聖路加国際大学 本館6階 講義室A 5階506室

出席者：上澤、坂上、柴田、清水、中村^希、森明、村上（スカイプ）、村本、中村^真（書記）

【報告事項】

1. 第16回日本生殖看護学会学術集会の事後報告。
2. 第17回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況。
3. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画案。
4. 教育推進委員会：勉強会等助成実施状況と第13回生殖看護実践セミナー開催の進捗状況。
5. 編集委員会：学会誌第16巻発刊に向けた準備の進捗状況。
6. 実践開発委員会：メーリングリストの新規登録状況。

7. 将来検討委員会：健やか親子21（第2次）中間評価に向けた準備状況。
8. 総務：会員管理、学会年間活動計画、看保連臨時社員総会等の報告。
9. その他：平成30年度日本看護系学会協議会臨時社員総会の報告。

【審議事項】

1. 委員会 幹事：新幹事を承認。
2. 入会審査：5名の入会と2名の退会を承認。
3. 学会ホームページ：教育推進委員会の勉強会、相談窓口開設、情報交換会などの掲載を承認。
4. 認定看護師教育課程ポストコース講座終了に伴う措置：認定看護師教育不妊症看護コースの閉講に伴い、ポストコース開催を本学会教育推進委員会でご承認することを承認。

事務局からのお知らせ

1. 第17回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数354名（平成31年1月23日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

●次号の原稿締切日

ニュースレター第53号の原稿締切日は、2019年5月20日（月）を予定しています。

◆編集後記

この冬はインフルエンザが例年以上に猛威をふるい、生まれて初めて罹患したという方も少なくないようです。引き続きアレルギー症状に悩まされる方が増えてくるこの季節、皆様くれぐれもご自愛ください。

さて、広報委員会は今回から古賀、本田、貫崎の3名編成となり、E-mail アドレスを新たに作成しました（jsfn.koho@gmail.com）。今後も会員の皆様にお伝えしたい情報等のご連絡をお待ちしております！